

第七回 関係詞の訳出のマスター

1.以下の英文を和訳せよ。

① Any student who has finished high school and who speaks and reads at least 500 words in English can attend the English Center.

② His parents will be glad that he took the journey, for it will have made him the independent scul they wanted him to be.

《語句》 for S+V~:というのは~だからだ ☞この for は接続詞。

③ One of the most exciting studies in the world is the study of words. For words are the materials out of which thoughts are built, just as bricks and stones are the materials out of which houses are built.

④ The Egyptians had many gods, some of whom had the heads of animals. Bast was the goddess of love, and she had the head of a cat.

⑤ The Japanese islands are traversed by seven chains of volcanoes, many of which were active in historical times, and some of which still are.

⑥ Two drunken fellows one day fought one another on the street, which caused a
great crowd of people to gather to see what it was.

酔っぱらい

ケンカする

集まる

⑦ What matters most is what we can derive from our life experience.

重要だ

引き出す

⑧ Some people think that if they could, they would like to put the clock back to
what they see as a purer age.

時計の針を~にもどす

より純粋な時代

④補足その1。「前置詞(句)+関係代名詞」の訳出の仕方について。

(1)他の関係代名詞と同じく、単なる接着剤としての機能と判断して、訳出しない。

(ex1) A sustainable society is one in which people use natural resources carefully, always thinking about how to replace them.

《語句》

sustainable:持続可能な

natural resources:天然資源

replace:~を置き換える、代替する

one = 「a+既出の単数名詞」

(2)前置詞を訳に活かす方法。

- ①「前置詞+関係代名詞」の手前でいったん(区切って)そこまで訳をまとめ、
- ②「そして(=and)」「しかし(=but)」「なぜなら(=because)」といった接続詞を補い、
- ③関係代名詞に先行詞を代入し、前置詞の意味も活かして、関係詞節を訳出する

特に「イディオム的な前置詞(句)+関係代名詞」の場合や、スラッシュリーディング等では、この手法で和訳すると速読につながるでしょう。

(ex2) He set out on a dangerous adventure in the course of which he had to feel his way with the utmost care.

《語句》 set out on A: Aに乗り出す(出発する)

feel one's way: 手さぐりで進んでいく

with the utmost care: 最大の注意を払って

in the course of A: Aの間で(において)

④in the course of をワンセットで一つの前置詞とみなす。このように、複数の語句が集まって(ワンセットになって)一つの前置詞の働きをするものものを「群前置詞」という。これらは受験では超頻出。ボクのホームページの「センター文法・語法スーパーチェック」というファイルの29ページと97ページ以降に詳しく載っているので、本番までにしっかり自分のものにしておくといい。

He set out on a dangerous adventure / in the course of which /

彼は危険に満ちた冒険に出發した

そしてその(冒険の)間(じゅう)

= and in the course of the adventure

he had to feel his way

手さぐりをしながら(先を)進んでいかなければならなかった

/ with the utmost care.

最大(限)の注意をもって → 注意を払って

2.以下の英文を和訳せよ。

- ① Vitamin is an important substance for human survival **without which** our body can't function.
- ビタミン 物質 機能する
- ② Lincoln is a famous American politician, **about whom** many books have been written.
- リンカーン 政治家
- ③ We were interested in the information, **according to which** there was some possibility to increase sales in the market.
- 可能性 売り上げ 市場
- ④ The snow storm raged all night, **during which time** the climbers had to wait to be rescued in the tent.
- 吹雪 吹き荒れる 登山者

會補足その2。

「関係代名詞の前にカンマ(,)があったら、カンマでいったん区切るといい」と言いましたが、実際の英文中では、関係詞節は、直前にカンマがあろうがなかろうが、先程の

- ①関係詞手前で一旦/で区切って、
- ②そこに接続詞(and, but, because のいずれか)を補い
- ③関係詞に先行詞を代入し、訳し下げる

という訳出法の方がいいことが結構多かったです。以下は、訳し上げては逆に意味不明になってしまうような例です。

(ex) At the last meeting held on Friday, Mat brought some newspaper articles which he read aloud to the members.

特に関係詞節を含む主節部分を「彼(マット)が出席者に読み上げたいくつかの新聞記事をマットは持ってきた」と訳し上げてしまっただけではまさに意味不明です。以下のように/で区切り、which に the articles を代入し、訳し下げるといいのです。

At the last meeting / held on Friday, / Mat brought some newspaper articles /
「最後の会議で」 「金曜に開かれた」 「マツはいくつかの新聞記事を持ってきた」
which he read aloud to the members.
「そしてその記事を彼は出席者に読み上げた」

上の訳のように「そして(=and)」「しかし(=but)」「なぜなら(=because)」といった
接続詞を／のところで挟んであげると更にスムーズにつながります(どの接続詞にするかは文脈判断)。

3.以下の英文を和訳せよ。

① Jack has the burning desire for beauty which we can find only in true artists.
燃えるような情熱

② New resource becomes useful matter which becomes waste which is then absorbed
back into the ecosystem to become future raw material.

resource:資源
waste:廃物

absorb:吸収する
ecosystem:生態系

raw material:原材料

【全訳】

1.

- ①高校を卒業していて、少なくとも英語で500語を話したり読んだりできる学生なら誰でも、イングリッシュセンターに出席することができる
- ②彼の両親は、彼が旅に出たことを喜ぶだろう。というのは旅をすれば(彼らが)彼になってもらいたいと望んでいたような自立した人間になっているだろうから
- ③この世で最も刺激的な研究の一つは言葉の研究である。というのも、レンガや石が家を建てる材料であると同様に、言葉は思考を形成する材料であるからだ
- ④エジプト人の信じる神はたくさんいて、中には動物の頭をした神々もいた。バストは愛の女神であったが、猫の頭をしていた
- ⑤日本列島は、七つの火山脈が横切っており、そのうちの多くのものは、昔に活動していたものだが、今もなお活動しているものもある
- ⑥ある日、二人の酔っぱらいが路上でケンカをしたが、それによってたくさんの人達がそれが何か見ようと集まってきた
- ⑦重要なことは、私達が人生経験から何を引き出すかである
- ⑧もしできるなら、自分たちがより純粋だと見なしている時代に、時計の針を戻したいと思っている人もいる

(ex1) 持続社会とは、人々が天然資源を慎重に活用し常にどのようにそれを代替すべきかについて考えている社会である

(ex2) 彼は危険に満ちた冒険に出発した。そしてその(冒険の間(中)、最大(限))の注意を払って手さぐりをしながら(先を)進んでいかなければならなかった

2.

- ①ビタミンは人間の生存にとって重要な物質であり、そしてそれなしには人間の体は機能しない
- ②リンカーンは有名なアメリカの政治家であり、(そして)彼については多くの書がこれまで書かれてきた
- ③我々はその情報に興味を持った。というのはそれによれば、その市場で売り上げを伸ばす可能性があったからだ

④その吹雪は一晩中吹き荒れ、そしてその間、登山者達はテントの中で救援を待たなければならなかった

罫 「,+前置詞+which+名詞」の形になる英文は、その部分を「and[but]+前置詞+that[those]+名詞」で書き換えられる。4の英文も以下のように書き換えられる。

→ The snow storm raged all night and during that time the climbers had to wait to be rescued in the tent.

このタイプの例をもう一つ挙げておこう。

(ex) The unit might not get the information, in which case they will be exposed to danger.

《語句》

unit:部隊

be exposed to A:Aにさらされる

【解説】

上記の考え方をういて、以下のように書き換えてみる。

The unit might not get the information but in that case they will be exposed to danger.

そうすると「その部隊はひょっとするとその情報を得ていないかもしれないが、しかしその場合、部隊は危険にさらされることになるだろう」と訳せる。

3.

①ジャックは美への燃えるような願望を持っている。そしてそれは、私達が真の芸術家だけに見つけ出すことができるものだ

Jack has that burning desire / for beauty / which we can find
「ジャックは燃えるような強い願望を持っています」 「美に対する(強い願望を)」 「そしてそのような願望を私達は見る事ができる」
/ only in true artists.
「真の芸術家の中のみ(見る事ができる)」

②新たな資源が役立つものとなり、そしてそれが廃物となり、そしてそれがそのあと生態系へと吸収され戻っていき、そしてまた将来の原材料となる

New resource becomes useful matter / which becomes waste /
「新たな資源が役立つものとなり」 「そしてそれが廃物となり」
which is then absorbed back into the ecosystem / to become future raw material.
「そしてそれがそのあと生態系へと吸収され戻っていき」 「そしてまた将来の原材料となる」